

東日本高速道路株式会社 北海道支社
支 社 長 田中 直樹

質問書に対する回答

(工事名) 道央自動車道 大谷地地区橋梁リニューアル工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回 答
1	【手続き開始の公示（説明書）P11～12】 4-4. 技術提案書について、「技術提案書」、「工事工程表」等はカラーで提出してもよろしいでしょうか。また、カラーのままでご確認いただけますか。	構いません。
2	【1/29 質問書に対する回答 15 項目】の追加質問 新設の門扉の設置が可能ということですが、高架下用地への工事用車両の門扉について、制約条件や設置位置の指定があるのでしょうか。国道 274 号に面して門扉の設置は可能でしょうかご教示ください。	制約条件や設置位置の指定はありません。 国道 274 号に面した位置への門扉の設置も可能ですが設置の際は道路管理者との協議が必要となります。
3	技術提案の一つ目の評価項目「設計業務の実施方法に関する提案能力」において、評価基準として「提案内容の適用上の課題に対する理解」とあります。その他の技術提案項目の評価基準においても「提案内容の適用上の課題の明示」とあり、内容が重なってしまうため、一つ目の評価項目においては、提案内容の適用にこだわらず、工事全般にわたる課題を提示させていただくことでよろしいでしょうか。	『手続き開始の公示（説明書）4-8. 技術提案の評価等』に記載のとおりです。

4	令和5年の1期施工時の上り線車線規制は、2車線を確保すれば令和4年と同様な（路肩部を確保しない）車線規制は可能でしょうか。	ステップ図の施工時幅員構成は（案）です。 「設計・施工に関する基本条件書」P.2に示す施工時の車線幅員を確保する必要があります。
5	上り線、下り線の最終の幅員構成をご教示願います。	上部工拡幅断面図（案）（参考図№.119/120）に示すとおりです。
6	手続き開始の公示（説明書）P13「4-8 技術提案の評価等」技術提案の評価項目「施工ヤード等の制約条件を踏まえた工法等の提案能力」の「鋼橋の上部工拡幅において、交差道路や交差河川及び隣接する連続高架橋の立地条件を踏まえて施工ヤードを最小化するための施工計画を立案する際の留意点」の評価基準に示される「狭小施工ヤードに対応した設備配置や地組立、桁架設等の施工能力に関して・・・」とありますが、この「桁架設等」の等には、RC床版の撤去・拡幅及びプレキャストPC床版の架設も含まれるのでしょうか。	鋼部材（主桁・横桁・対傾構・横構等）のみとしてください。

以 上